

和をもっと

第24号

発行
成相山成相寺

京都府宮津市宇成相寺339
TEL.0772-27-0018
<http://www.nariaiji.jp/>

壱千三百年前の出来事

秋空の清々しい季節となりました。皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

今年もまた台風による大きな被害が出てしまいました。毎日ニュースを見ていても把握しきれない位の方々が被災されており、怒りの持つて行き場のない、何も仕様の無いことが多く、気持ちのやり場がありません。世話人様方の中で被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

ますと共に一日も早い安寧な暮らしに戻れますよう、お祈りいたしております。話は変わりますが、成相寺のあります

宮津市はフランスのモンサンミッシェルと港湾姉妹都市提携を結んでおられます。モンサンミッシェルというと、憧れの観光地ですが、去年その自治会の会長の方が成相寺にお越しくださいました。ご夫婦でお越し下さいまして、モンサンミッシェルと成相寺で僧侶同志の交流会が出来れば良いですねというお話でした。



このモンサンミッシェルと言うのは今から壱千三百年前に、それまではケルト人によるシャーマン的な信仰の聖地であった場所にキリスト教の修道院が建てられて、以降その時代ごとの建築様式で聖堂が島を覆うようになり小さな島

が大きな要塞の様に発展していった処だそう。巡礼の聖地として多くの旅人が訪れ、キリスト教の発展と共に栄えていった場所だそう。おおよそ百年前には島に渡る鉄道が整備されたのです

が、線路の堤防のせいで潮流が変わり、それまでの潮の変化による美観、満潮の時は沖に浮く小島、干潮の時は広い砂丘の中に建つ要塞のような外観、が損ねられたとして、その鉄道は廃止になって元の島の島に戻ったそうです。島の自治会でも大きな決断だったそうです。約四十年前に世界遺産に認定されてそれ以降、全世界から観光客の方がこの沖にうかがふ小さな島を目指して旅に出られるそうです。

成相寺と似ております。成相寺も壱千三百年前に文武天皇の勅願で堂宇が建立されましたが、それ以前には日本の五大修行聖地の一つとして、多くの行者が集まり、この山で暮らし修行を重ねておりました場所です。その後時代により栄枯衰退を繰り返し現在に到りますが、天橋立を見渡せるこの山で多くの修行僧が暮らし学びそして修行を重ねていきました。

戦時中一度天橋立の砂州を切つて軍需工場であった冶金に、大きな船を横付け出来るようにしようと言う計画があつ

たそう。しかし一度、橋立の松並木を寸断してしまうともう二度と戻らないと、地元の方々や有識者の方々が反対されたそう。あの時代に大変な事であったろうと推察致します。

人々の勇気や努力で天橋立は守られてきたのです。憧れの天橋立。京都の寺院の庭園にも橋立の松並木を模した所がありますね。今でも、テレビや書籍で取り扱われ、多くの観光客の方がお越しになります。朝な夕な、海と山を眺めます。海岸線は昔とは大きく変わり、建物や港が整備されましたが、山の稜線は壱千参百年前と変わらないのだろう。と考えながら、昔の僧侶もこの稜線に浮かぶ雲を眺め昇る月を眺め、何を思っていたのかと、考えます。

壱千三百年前。どんな人が居たのだろう。どんな風に暮らしていたのだろう。そして、御観音様はそのときも今と同じように、見守つて下さつて居たのだろう。と思うと、気持ちはその時代にタイムスリップ致します。ドラえもんのものでドアが欲しいな。と、独り言です。

秋の夜長、皆様も思い巡らせて歴史書等手に取つてみて下さいませ。お住まいの近くでは、壱千参百年前、何が起きていたのでしょうか。どんな人がどうやって暮らしていたのでしょうか。考えてみると楽しくなります。

皆様におかれましては、冬に向けどうぞお身体お大切に下さつて下さいませ。南無観世音菩薩 合掌 弘眞

山内順礼 番外編

愛染明王

成相寺はその昔、多くの塔頭を有する大伽藍でありました。

その塔頭寺院の一つの本尊が、現在本堂に安置されている愛染明王であると伝えられています。作者やいつ頃のものであるかは判然としませんが、昔よりこの地方の若い男女から篤く信仰されており、真夜中参りする人も沢山いたと伝えられています。

愛染明王の持つておられる弓矢は、大悲の矢といい、衆生の心にある差別や憎しみの種を射落とし、矢は放たれるとすぐに目



標に到達することから、除災、男女の縁結びにおける祈念の効果が早く現れることを表しています。また、東洋版のキューピッドともいわれ、女性や、若い男女の信仰を集めてきました。

成相寺では紅葉の時期限定で愛染明王特別朱印をお授けしております。本来ご朱印はお参りされた方にお渡しするものですが、ご希望の世話人様には、お守りと御朱印で千円（送料込）にて特別にお送り致します。



納経所 便り

今回は新人の近藤天智をご紹介させて頂きま

す。彼のお父様は清蘭寺のご住職様で、何時も成相寺で行事、法要があるときには、必ず助けて下さいます。この度こうやって親子二代でお世話になることになりました、大変有り難いことです。

高野山で修行を終えられて、成相寺に来て頂きました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

私が成相寺に勤め始めたのは去年の4月からで、今年で2年目になります。普段は納経所にて御朱印やご祈祷・ご回向の申込の受付等をさせて頂いております。他にも、「節分星祭」や「千日参り」が近づいてまいりますと、発送のお手伝いをさせて頂きます。

そういった仕事をさせて頂いておりますと、成相寺は全国の世話人の皆様、お参りに来て頂ける信者の皆様のお力に支えられているのだなと実感させて頂く事が出来ます。

まだ分からないことも多く到らぬ所もあると思いますが、丁寧な対応を心がけ気持ち良くお参りして頂けるよう努力致します。よろしくお願ひします。

合掌

